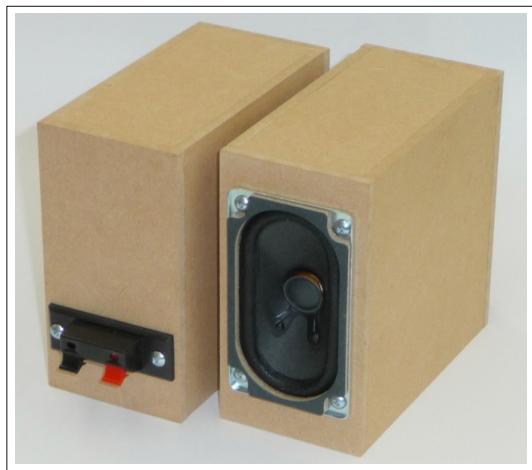


# スピーカークラフト入門キット

## WP-717C-D2

組立説明書 Ver.1



**KYORITSU**  
共立電子産業株式会社

### ●必要な工具

- ・プラスドライバー #1
- ・ハンダこて台
- ・ワイヤーストリッパー
- ・ハンダこて
- ・ニッパー

### ●主な仕様

- ・エンクロージャー形式 密閉型
- ・スピーカーユニット口径 90mm × 50mm
- ・インピーダンス 4Ω
- ・最大許容入力 15W
- ・出力音圧レベル 82db/W
- ・外形寸法 幅60mm 高さ120mm 奥行き120mm
- ・重量 約280g (1台)

### お断り

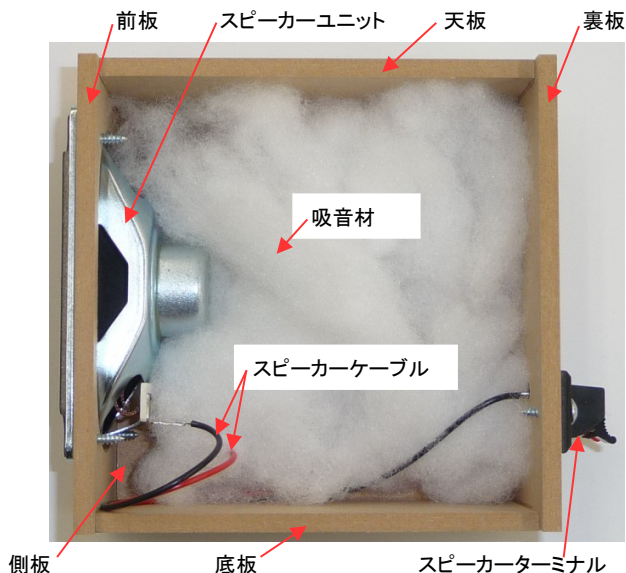
- ・本製品およびそれらを構成するパーツ類は、改良・性能向上のため予告なく仕様・外観等を変更する場合がありますことをあらかじめご了承ください。
- ・本製品は組立キットまたは半完成品です。製作作業中の安全確保のため説明書をよくお読みになり、正しい工具の使用・手順を守ってください。
- ・完成品でない商品の性格上、組み立て後にお客様が期待される性能・品質・安全運用等の保証はできません。完成後はお客様(組立作業者)ご自身の責任のもとでご使用ください。
- ・本製品は機器への組み込み他、工業製品としての使用を想定した設計は行っておりません。また、本製品に起因する直接、間接の損害につきましては当社修理サポートの規定範囲を超えての補償には応じられません。

販売元: 共立電子産業株式会社

共立プロダクツ事業所

〒556-0004 大阪市浪速区日本橋西2-5-1  
TEL 06-6644-4447 FAX 06-6644-4448

### ●内部構造



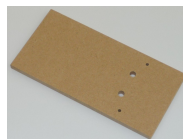
### ●ワンポイントアドバイス

- ・本機に採用している木材・「MDF」材は、その性質上「オイル仕上げ」や「ワックス仕上げ」には適しません。水性もしくは油性塗料による「塗装仕上げ」をおすすめします。塗装作業は組み立て工程⑤終了後に行ってください。
- ・ノートパソコンの左右に置くような間隔で設置して、スピーカーから1m以内の至近距離で聴くスタイルを「ニアフィールドリスニング」と呼んでいます。左右のスピーカーの間に「箱庭」のような音場が出現し、小型システムならではの音世界を楽しむことができます。
- ・本機は「ツイーター」としてお使いいただくことも可能です。

### ●このキットに含まれるパーツ



前板(2枚)



裏板(2枚)



側板(4枚)



天板/底板(4枚)



スピーカーケーブル  
(赤・黒各2本)



スピーカーターミナル (2個)



スピーカーユニット(2個)



タッピングネジ(12本)

### ●別途ご用意していただくもの



木工用接着剤  
(ボンド)



吸音材

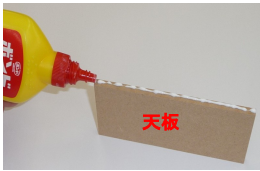
・写真は手芸用の「ポリエステル綿」ですが、熱帯魚用の「濾過フィルター」なども使用できます

・どちらも「100円ショップ」や「ホームセンター」などで購入できます

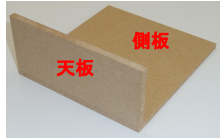
## 組み立て手順

### ① 「側板」に「天板」を接着します

- ・「天板」の端面にボンドを均一に塗ります  
同じサイズの板が4枚ありますが、どれを使用してもOKです



- ・「側板」に手で押し付けて接着します  
同じサイズの板が4枚ありますが、どれを使用してもOKです
- ・段差が生じないように微調整しながらボンドが固まってくるまで約3～5分間押さえます
- ・外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます

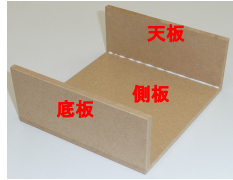


- ・直角定規などで2枚の板が正しく直角になっているか確認します
- ・直角になっていないときは「天板」の上部分をそっと動かして傾きを修正します

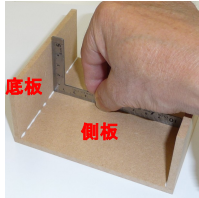


### ② 「側板」に「底板」を接着します

- ・「底板」の端面にボンドを均一に塗ります  
同じサイズの板が4枚ありますが、どれを使用してもOKです
- ・「天板」と同じ要領で接着します

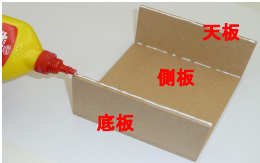


- ・「側板」と直角になっているか直角定規などで確認します
- ・直角になっていないときは「底板」の上部分をそっと動かして傾きを修正します
- ・ボンドの色が「白色」⇒「透明」になるまで(乾燥するまで)待ちます



### ③ もう片方の「側板」を接着します

- ・「天板」および「底板」の端面にボンドを均一に塗ります



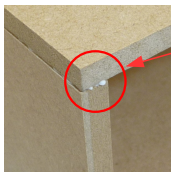
- ・もう片方の側板を載せて、手で押し付けながら位置を合わせます



- ・水の入ったペットボトルや本などを重石にしてボンドの色が「白色」⇒「透明」になるまで(乾燥するまで)待ちます

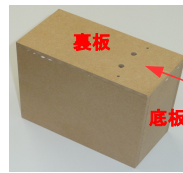
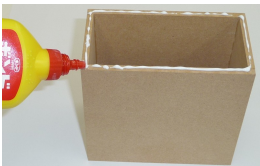


- ・外側にハミ出たボンドは乾かないうちに濡れ雑巾などで拭き取っておきます  
そのままにしておくと「前板」や「裏板」を接着するときに板どうしが密着せず、スキマができてしまいます



### ④ 「裏板」を接着します

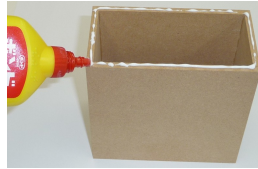
- ・写真のように端面の全周にボンドを塗ります



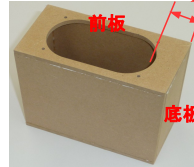
- ・「裏板」のをせて手で押しつけながら位置を合わせます
- ・水の入ったペットボトルや本などを重石にしてボンドの乾燥を待ちます
- ・「天板」と「底板」は同じものですが、この工程以降、「スピーカーターミナル」取付穴に近い方が「底板」になります

### ⑤ 「前板」を接着します

- ・写真のように端面の全周にボンドを塗ります



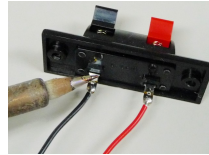
幅の広い方を「底板」側にします



- ・「前板」のをせて手で押しつけながら位置を合わせます
- ・端面との幅の広い方を「底板」側にします
- ・水の入ったペットボトルや本などを重石にしてボンドの乾燥を待ちます
- ・「裏板」と同じ要領です

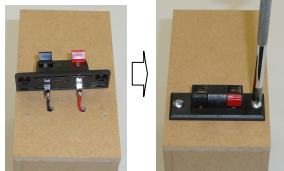
### ⑥ 「スピーカーターミナル」に「スピーカーケーブル」をハンダづけします

- ・ターミナルの色とケーブルの色を合わせます
- ・初心者の方は最下段の「ハンダづけのしかた」を参考にしてください



### ⑦ 「スピーカーターミナル」を取付けます

- ・スピーカーケーブルを「裏板」の穴に通して付属のネジで固定します(2カ所)



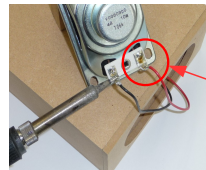
### ⑧ 「吸音材」を入れます

- ・スピーカーケーブルをスピーカー取付穴から引き出しておきます
- ・吸音材をスピーカー取付穴から挿入します  
表ページの「内部構造」写真のように入れるのが一般的ですが、吸音材の量で音が変わるのでお好みの音になるよう、完成後にチューニングをお楽しみください



### ⑨ 「スピーカーユニット」を取付けます

- ・「スピーカーユニット」の端子に「スピーカーケーブル」をハンダづけします  
端子には極性表示があります  
「大きい方の端子」が(+)です  
(+)には赤色のケーブルを(-)には黒色のケーブルを接続します



- ・付属のネジで固定します(4カ所)  
写真のように対角線の順に少しづつ締め付けてゆきます



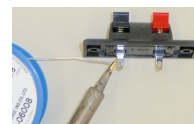
### これで完成です

- ・アンプに接続して音が出るか確認してください
- ・好きな色に塗装したり、カラーシートを貼ったり世界でひとつのスピーカーに仕上げましょう

### ハンダづけのしかた



スピーカーケーブル先端の被覆を約5mmはがして予備ハンダ(ハンダメッキ)をします



スピーカーターミナルの端子にも予備ハンダをします



端子の上にスピーカーケーブルを置いてその上からハンダごてを当てると簡単にハンダづけできます